

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3F・Tel:(072)223-2300番  
 例会日 毎週金曜日 午後0時30分  
 例会場 「天兆閣」別館4F Tel:(072)222-0131番(代表)  
 URL : <http://www.sakai-kita.jp/>  
 E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)  
 ガバナー(第2640地区) :  
 ガバナー事務所 URL :  
 E-mail :  
 会長:坂田兼則 幹事:藤永 誉 広報委員長:山ノ内修一 編集者:池田茂雄

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

## 本日の例会

2015年9月26日(土)第1678回

「35周年記念 北海道旅行」

第一部 記念式典及び例会

1. 点鐘 会長 坂田兼則
2. 国歌斉唱・歌  
「君が代」「奉仕の理想」  
「堺北RCの歌」
3. 物故者に黙祷
4. 開会の挨拶
5. 会員家族の紹介
6. 出席報告
7. 会長の挨拶
8. 表彰状・感謝状授与
9. 閉会の挨拶
10. 点鐘

## 前回の例会

2015年9月18日(金)第1677回

卓話 「縁活」  
 卓話者 大阪大学名誉教授  
 久保井 亮一 様  
 紹介者 奥野 圭作 会員  
 今週の歌 「四つのテスト」  
 「夕やけこやけ」  
 「堺北RCの歌」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<9月11日(金)の出席報告>  

会員数	31名
出席会員	20名
欠席会員	11名
ビジター	1名
ゲスト	0名
8月7日(金)の出席率	75.86%

## 次週の例会

2015年10月2日(金)第1679回

卓話 「職業奉仕フォーラム」  
 卓話者 職業奉仕委員会 中川 澄委員



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリーのテーマ  
 「世界へのプレゼントになろう」  
 Be a Gift to the World  
 国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン (スリランカ・コロンボRC)

## 卓 話

「縁活」

大阪大学名誉教授 久保井 亮一様



<講師略歴> 大阪大学基礎工学研究科での約20年間の准教授・教授時代には、欧州研究者らと国際共同研究促進、メンブレン・ストレスバイオテクノロジー研究会を主催、その間30人を越える博士人材を育成し国の内外へ送り出してきた。学生主導のベトナムー日本、タイー日本等の国際学術交流会議を推進、2009年に定年退職後は、同国際企画推進本部に所属（特任教授）、2010年より4年間同サンフランシスコ教育研究センター長として勤務、グローバル人材育成に携わっていった。現在は名誉教授・バイオメンブレン研究所長として、メンブレン・ストレス・アフォーダンス（MSA）や、その一環としてのESD（持続発展教育）の啓？に努めている。

イギリスに行った時は、イギリス政府から奨学金を頂きましたので、イギリス政府の希望を聞き、今までにない事をしようとゆうことで、私の研究していることをバイオに転換することにしました。発酵技術に関して日本はとても素晴らしく、大阪大学は発酵関係ではTOPでしたらから、生物工学関係の仕事にしました。ケミカルエンジニアリングのプラントをバイオケミカルエンジニアリングに替え、そしてストレスをキーワードにストレスバイオケミカルエンジニアリングに替えていきました。

ストレスバイオテクノロジーの研究科を立ち上げて国際会議でやっていました。

ストレス社会は孤立していると弱いです。しかし友人たちの激励があると立ち上がれる！友人＝ネットワークがなければ、ストレスはストレスにしかならない。

それをバイオシステムに置き換えると、細胞と細胞のネットワーク。細胞を1個でみると細胞の膜がなければ生命は成り立たない。生命体（バイオメンブレン）薄い膜がなければストレスを転換することをできないことを学びました。

ストレスがある程度あるということで生産性が上がるという実験結果もできました。

ストレスも決して怖いものではない。ただし、生物はバイオメンブレンというネットワークがあってこそ、そのストレスを有効に活用していくことが出来ます。

ロータリークラブというネットワークがあってこそ、1人1人の千差万別、色んな個性の持った人達の力を発揮して社会の為に役に立っていける。新しい価値を作っていける。

そういうことをベースにして、最初に一番大事な結論「バイオメンブレン」をもっていき、バイオメンブレンストレスバイオテクノロジーというのを20年間提唱してきました。

ストレスは大事。ストレスを恐れてはいけない。ストレスは決してストレスではない。恐れればストレスになるけれど、ウェルカムすれば、刺激・快感になる。人の身体はそのように出来ている。進化の歴史を見れば、絶滅する危機を何度も乗り越えてきているわけですから、強烈なストレスを受けて勝ち残ってきた。だから皆さんは最強の勝者の末裔なのです。すべての人に存在の価値がある。リスペクトしウェルカムしなければな

らない事を学んできました。

グローバルリーダー：パイオニア・歴史に学ぶ ESD の薦め  
受身の“ストレス応答”から自発能動の“挑戦と応戦”へ

### 1. ESD (持続発展教育：Education for Sustainable Development)

：「三方よし」経営？

“非常に日本的と思われている近江商人の「三方よし」の考え方は、今や世界企業の生き残りを懸けた社会貢献（CSR）活動や、地球社会の持続可能性を目指すユネスコ・ESD の源流（拠って立つ基盤）とも見なされるようになってきた。阿倍野ハルカスでのボランティア活動「縁活」もその流れを汲んでいる。

(縁活新聞・天声にゃん語・久保井)

⇒自分自身の（幸福の？社会の/組織の/家庭の？）持続発展可能性のために？

⇒今？ここで？私は何をすればよいのだろうか？

“Think Critically, Discuss Creatively！”

地域ぐるみのサポートについて：

コミュニティスクールを作るなど、地域ぐるみで問題点を解決していくことが、これから非常に大事になっていくことです。夢を共有して地域社会・子ども達をできるだけ元気にするという目標を共有して、それぞれがそれぞれの個性を發揮していきたいですね。

日本は貧困家庭が増えています。先進国の中でも日本は非常に高い。そういう子ども達はまわりに沢山いますが、目には見えないです。しかしちょっと動くと分かってきます。

私も今日の朝、小学校の1年生対象に読み聞かせをしてきました。みんな元気です！しかし中には元気でない子もいますが、目はキラキラ輝いています。そういった子ども達に「あなた方が主役だヨ！」と言っています。

未来世代の人材を育成しなければ、持続可能性はあり得ない。

自分の事だけを考える人材ではなく、人の為に社会の為に何が出来るかを真っ先に考えるような人材を作っていこうと、そうすれば社会は持続可能になり、又家庭・家族もハッピーになり、まわりの社会もハッピーになる。自分だけのハッピーなんてあり得なく、まわりに苦しんでいる人・悩んでいる人や子どもがいて知らん顔しているような社会では持続可能性はあり得ない。長い長い生物の歴史を見ていると歴然とわかりますね。

若い世代・いろんな国の人々と協力して、どういう風にしてより良くしていくのか、私たちの責務だと考えております。

## 会長の時間

会長 坂田 兼則



本日の会長の時間は、来週行きます「35周年記念事業」の北海道についての私の個人的な思い出について少しお話をさせていただきます。

会長就任のときにも少しお話ししましたが、私が大学3年のとき昭和47年に250CCの単車で一人で大阪から北海道へ行きました。

何の計画もなく、北海道を自由に見てみたいという思いで寝袋と多少の着替えと3万円の現金をもっていきました。

当時の北海道は今みたいに高速道路もなく、又都会からちょっと離れると道路はジャリ道で、一度斜里から知床へ行く途中に居眠りして倒れたこともありましたが、しかし景色はすばらしく、又直線で20キロほどある道もあり、北海道は本土と違って広々としているなあと思ったものです。

函館、洞爺湖、ウトナイ湖、札幌、襟裳岬、黄金道路、帯広、旭川、層雲峡、摩周湖、根室、野付半島、知床、網走、宗谷岬、礼文島、と回って約一ヵ月半北海道をうろうろしました。

襟裳岬から帯広に行く途中の黄金道路はお金を敷き詰めるほど費用がかかったことによる命名だそうです。

根室岬からは歯舞群島が見え、あれがうわさの北方四島かと思い、又知床では羅臼から観光船にのり、知床半島を回りウトロへ行き、知床五湖を見て回りました。層雲峡では大雪山に登って雲海を見、網走では刑務所見学をし、(正面だけですが)礼文島では樺太を見そこね、サロベツ原野ではその壮大さに驚いたものでした。私がいきましたのは7月中から8月いっぱいにかけての時期でしたので、すでにハマナスの花は終わりがけでしたが、季節は非常によく、十分野宿を楽しんだものでした。

来週は、すでに9月末ですのでハマナスはすでに終わっているかもしれませんが、北海道の雄大な景色を皆さんと楽しめればと思っております。

それでは来週を楽しみにして、本日の会長の時間を終わります。

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会

社会奉仕委員長 塩見 守

#### 「仁徳天皇陵」清掃奉仕のご案内



さて本年度も恒例になりました仁徳天皇陵の清掃奉仕「仁徳稜をまもり隊」を下記要領にて実施いたしたく、何かとご多忙のこととは存じますが、ご参加、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

記

日 時：平成27年11月1日(日)

午前9:30～

集合場所：仁徳天皇陵正面配所前 (駐車場)

集合時間：午前 9：15

服 装：ロータリーメンバーは  
いつものジャンパー 帽子  
家族のかたは自由です。

持 参 物：特に必要なし 道具等は社会奉仕委員会で用意致します。

※雨天等の関係で中止の場合、参加予定者の皆様に当方（塩見）より午前7：50頃までにご連絡いたします。当日の件でのお問い合わせは携帯 090-1964-2877（塩見）までお願いいたします。

尚、雨天中止の場合には次回予定が11月8日（日）となります。当日はメーキャップ扱いと致します。

### 「秋の全国交通安全運動」街頭キャンペーンに参加

平成27年9月18日（金）16：30より堺市役所広場に各種団体が集合し、キャンペーン開始の挨拶があり、参加者全員で南海堺東駅前にて、通行されている市民の皆さんに交通安全運動のチラシとグッズ（冷ピタ）を配布しました。今年は夕方の集まりにくい時間帯でしたので、各団体の参加人数はかなり少ない状況での街頭キャンペーンになりましたが、秋晴れのもと、皆さん手慣れておられまして予定時間より早く配布し終わりました。堺北RCからは10名も参加下さいまして、一番多くの参加団体だったと思います。参加下さいました会員の皆様には、心から感謝いたします。有り難うございました。次回も宜しく願いいたします。

参加者 新井・池田・奥野・國井・小西・塩見・中田・那須・平野・藤永 10名です。



### 「薬物乱用ダメ・ゼッタイ！」募金報告

9月度、ダメ・ゼッタイの募金にご協力頂き有難うございました。今月のお土産は坂田会長より「敬老の日のクッキー」を頂きました。募金額は7,500円でした。皆様の御協力に感謝致します。



## 広報委員会

広報委員 木畑 清

### 「9月号ロータリーの友 ご紹介」



9月は基本的教育と識字率向上月間と、ロータリーの友月間です。

#### 横書き

- ・ロータリーは被爆樹木を通じて平和のメッセージを広げている  
2013年ロータリー世界平和フォーラム広島  
ホスト委員会 緑の遺産担当 錦織亮雄（広島東南RC）26頁

#### 縦書き

- ・東日本大震災から伝えたいこと 73頁 気仙大工左官伝承館語り部 武蔵裕子
- ・友愛の広場 高崎RCが驚異の会員増強 金沢百万石 炭谷 亮一

## 子ども囲碁フェスタ

### 「第5回子ども囲碁フェスタ」

大会準備委員会・委員会報告 大会準備委員長 宇瀬 治夫



第2回 囲碁大会準備委員会打ち合わせ会議

日時：平成27年9月18日（金）18時00分～

場所：すし亭「幹」

出席者：宇瀬・山田・坂田・池永・笹山・小西・塩見・城岡・中川・中田・藤永・米澤  
以上12名

議題：「今後の予定について」役割分担等

議案 担当責任分担及び今後の予定について

#### 1) 実施責任者

（宇瀬・堀畑・北側・山田）

①大会実施大綱 募集は堺市内・大阪府下の小学生 100名

②会場 サンスクエア堺5月申し込み完了

（今年は教育委員会より申し込みして頂きました）

③日時 平成27年11月15日（日）決定

午後1時～午後4時にて開催 2階 和室以外の全室利用

#### 2) 後援・協賛 手配

担当（宇瀬・堀畑・城岡・中田・山ノ内）

①堺市教育委員会 後援申し込み 担当（塩見・藤永）

後援依頼文書提出・寄稿文書依頼書提出・教育長の写真依頼

②堺市子ども会育成協議会 後援申し込み 担当（塩見・藤永）

③日本棋院への後援依頼及び打合せ後援申し込み 担当（山田）

④IM8組への後援名義使用承諾依頼 担当（坂田・藤永）

（8月の連絡会にて依頼済）

⑤堺商工会議所へ協賛依頼 担当（堀畑・塩見）

後援依頼文書提出・寄稿文書依頼書提出

会頭の写真依頼

⑥企業・個人その他への協賛金依頼

担当 (宇瀬・堀畑・北側・徳田・城岡・山ノ内)

⑦協賛企業・個人の名刺を集計 担当 (藤永)

3) 広報活動 担当 (中田・中川・塩見・藤永・山ノ内)

①ポスター・案内チラシ (参加申込書掲載) 作成・ホームページ更新  
担当 (塩見・藤永)

ポスター500枚 案内チラシ2500枚

内堀市へポスター150枚

内堀市へチラシ1000枚

(9月中旬に発注して9月下旬に作成完了)

参加申し込み締切日 平成27年10月23(金)

②ポスター・案内チラシ (参加申込書掲載) の配布 (10月上旬予定)

1. 小学校・子ども会へ堀市教育委員会からの配布依頼 担当 (北側・塩見)

2. 自治会・基会所へ配布 担当 (中田・北側・山ノ内)

3. IM8組・協賛企業・個人へ配布 担当 (坂田・藤永)

4. 堀市広報へ掲載依頼 (7月下旬) 担当 (塩見)

③協賛企業・個人の名刺広告申込書作成 担当 (塩見・藤永)

④大会プログラム作成及び協賛企業の名刺広告掲載 担当 (藤永)

4) 大会事務局 担当 (坂田・中田・事務局石川・坂上)

①前年度参加者へ参加案内 (案内チラシ)

送付 担当 (事務局 石川・坂上) (送付済み)

②参加者の掌握・確保 担当 (坂田・中田)

③参加証・挨拶状の作成と参加者への送付

担当 事務局石川・坂上 (11月上旬予定)

5) 大会運営実行本部 (11月上旬設置)

11月上旬 運営会議開催し、大会の詳細・役員体制の決定

①当日の大会プログラムの作成 担当 (塩見・藤永)

②司会進行 担当 (中川・日本棋院)

③会場設営 担当 (坂田・中田)

(会場の振り分け・会場看板の作成 式次第の作成・他)

④受付 担当 (事務局 石川・坂上)

⑤表彰状・記念品の準備 担当 (山田・藤永・笹山)

⑥会計 担当 (池田)

⑦大会記録作成 担当 (池田・米澤)

⑧審判・各会場の進行 担当 (日本棋院)

6) その他

①堀ユースサッカーへの案内を北側会員にお願いします。

②Aクラス・Bクラス・Cクラスの1位～3位のメダルを作成する。

(宇瀬委員長に一任)

③囲碁棋士の増員を山田会員にお願いします。

④参加受付は小学生までとして、中学生は受付をしない。

⑤受付方法は郵送かFAXのみでメールでの受付は次年度検討します。

⑥ポスターにRCマークを入れる。

⑦参加賞の記念品を見直す。

## S A A 報告

- 池田茂雄会員 堺泉ヶ丘ロータリーの吉野惣太様ようこそお越し下さいました。
- 宇瀬治夫会員 いつも汚い格好ですいません。心は新品です。ニコニコ。
- 坂田兼則会員 久保井先生、吉野様本日はよくお越し下さいました。久保井先生、卓話宜しく願い致します。
- 嶽盛和三会員 久保井先生卓話宜しく願います。楽しみにさせて頂いております。吉野さんご来会有難うございます。お久しぶりです。
- 奥野圭作会員 久保井先生、本日はお忙しい所、大変有難うございました。

合計 19,000円

## 幹事報告

- (1) 本日の配布物 ・週報 ・卓話資料 ・ロータリーの友
- (2) 幹事報告
- ・次週の例会は、9月26日北海道旅行に例会変更です。
  - ・35周年のご案内（服装・帰りの夕食）についてをメール又はFAXさせて頂きます。ご確認の程宜しく願い申し上げます。

「ご存知ですか？」

広報委員会

①睡蓮	②石楠花	③仙人掌	④団栗
⑤柘植	⑥杜若	⑦杜鵑草	⑧土筆
⑨馬酔木	⑩繁縷	⑪柎	⑫百日紅
⑬浜木綿	⑭撫子	⑮満天星	

① 睡蓮 ② 石楠花 ③ 仙人掌 ④ 団栗  
 ⑤ 柘植 ⑥ 杜若 ⑦ 杜鵑草 ⑧ 土筆  
 ⑨ 馬酔木 ⑩ 繁縷 ⑪ 柎 ⑫ 百日紅  
 ⑬ 浜木綿 ⑭ 撫子 ⑮ 満天星